

# よりそう

Side by Side



第163号

編集責任：三好

編集担当者

## 風塵舞い散る仮設錠。



3/27, 28, 30の3日間、「お試し期間」として生活支援隊の活動に参加させてもらった。

昨年9月以来、体育館時代、生活支援隊がおりのミーティングをされる所の近くに寝子場所があったので話をモレ聞いていて、そのたいへんさを少しは認知していた。

実際に参加して見ると、その「大変さ」がよくわかった。例えば、訪問して子ども(小・中学・高校生)が玄関に出られたりする。普通なら「お母さん、いる？」と話しかけられる子が、これは禁句である。そこで「大人の人、おうちの方ありますか？」又は「ご家族の方、おうちの方ですか？」と言葉をかけようが良い。質問は原則してしない。まずは無難な天気の話が入っていく。「今日は暖かいですね〜。散歩できようになりましたね〜」玄関に鉢植えの花が咲いておれば、それを話題に入っていく。しかし、実際は「まごころネット」の緑のジブスの信用はあっても、話が長くは限る。

訪問の場合、「沈黙」はおそれない、ということだが、なかなかこの「沈黙」に耐えろ、ということでは、私のような初心者には、まずない。留守が続き、裏にまわす。洗濯物などを見る。電気を消し忘れておられる。サッと緊張が走る。で、その棟の最後の家で「ここは、私も含めて一人者ばかり。あとの5軒の方は、みなさん働きに行っておられる」との言葉で帰る。

仮設住宅を6ヶ所訪問したが、一口に仮設錠といってもさまざまである。洗濯干し場に最初屋根がなく、被災者の要望であとからつけられた。これがさまざま。屋根と同じ鉄の波板を棟の両端がはみ出る長さでつけている、棟の長さ分だけスチックの屋根をつけている、波板・平を170センチと110センチ。欧風の仮設住宅もある。

もともと人が住んでいた所ということでは棟石場が稼働している。ところが、そこに仮設住宅が建設された。強風になると風塵が舞う。洗濯物が大変なことになる。

## 十七代編集委員決まる。

3/30の定例会で雇用スタッフの任務分担一覧表の補欄外に「よりそう」担当が記してあるのを見て、さっそく応募があり、個人ボランティアのお方も申し出があった。嬉しいの一語につまます。よろしくお願ひします。

**宇野高一郎さん** (3人の互選で編集長に)  
**山田江重さん**  
**園田碧さん**  
ボランティアのみねさん、ぜひ投稿記事をお願いします。

4/ (日) 天気 晴後雪

気温 0℃(昼) 8℃(夜)

降水確率 0% (AM) 60% (PM) 大船渡市

3/31午後、三つの地区とも午後短時間で切り上げ撤収。

4/ (日) ボランティアミーティングはPM15:10〜 男性宿舎棟 3/ (土) の宿泊: 83人、活動: 100人

まごころ種 募集

くわしくはHPへ